

ウォノギリ多目的ダム・貯水池堆砂対策計画（第二期）【インドネシア】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 令和6年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インドネシア共和国
(2) 案件名	ウォノギリ多目的ダム・貯水池堆砂対策計画（第二期）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	中部・東部ジャワを流れるソロ川上流に位置するウォノギリ多目的ダムにおいて、土砂流入防止堤の設置及び流域保全対策等を行うことにより、灌漑、生活用水、発電及び洪水調整のための貯水容量確保を図り、もって同ダム機能の回復を通じた同地域の経済発展に寄与するものである。 案件の内容 ・ 土砂流入防止堤設置工事 ・ 支川流域保全事業 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成 26 年 2 月 18 日 イ 供与限度額：49.54 億円 ウ 金利：1.4 % (コンサルティング・サービスについては、年 0.01%) エ 償還（据置）期間：25（7）年 オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 インドネシアのジャワ島最大の河川であるソロ川流域に位置するウォノギリ多目的ダムは、1981 年に日本の有償資金協力によって建設され、灌漑用水や生活用水の供給と発電に貢献している重要なインフラであるが、上流からの土砂流入により取水口の閉塞リスクに対する恒久的な堆砂対策により貯水容量を確保することで、地域住民の生活安定や社会経済活動の維持・向上が求められていた。 現在においてもウォノギリ多目的ダムの地域におけるこうした重要性は高く、また上流からの土砂流入も続い

	ており取水口の閉塞状況が悪化していることから、本事業に関する社会的ニーズは引き続き高い。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 コンサルタントおよびコントラクターの調達手続きの遅延及び着工後にも現場の状況を踏まえた工法の変更が生じ、当初事業スケジュールより約2年遅れ、2020年2月に土砂流入防止堤は完成した。しかし、同年12月に発生したダム上流部における大雨の影響等により深刻な損傷を受け、この対応として、損傷箇所の緊急的な補修工事とともに、損傷要因の分析、再発防止策を検討した結果、4年間の工期延長を要する大規模な補強工事が必要と判断された。現在補強工事实施中であり、2027年に完工予定。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれるため、早期完工に向けて引き続き実施機関の事業実施の監理を行う。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料